

萬福寺だより

馬 込 から 気 持 ち の よ い 風 が 吹 い て く る

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

2012年特別号／no.13／平成24年9月10日発行

※ 当山の興隆に更なるご協力を



曹洞宗萬福寺 住職
安本 利正

この度、萬福寺責任役員及び護持会役員の改選に当たり、皆様に御礼のご挨拶を申し上げます。多くの方々は従来から引き続いて長年に亘って役員を務めて戴いています。その数年間に回想すると、未曾有の大事件に遭遇し、悪く行けば寺院が消滅する不安に悩まされましたが、幸運にも被害は反転して優位に恵まれ、護持会役員様方の熱心なご協力は、月10回以上の会議を催してご支援くださいました。

5年間続いた裁判も本年2月6日に最終判決が決定し、全てが勝訴でした。最初に相手から告訴された日が平成19年2月7日で、最終判決が本年2月6日ですので、満5年ピタリで一日の余りもない不思議な御縁に助けられているように感じます。

その間に護持会会長の波田野鈴雄様は事件が生じると毎日ご指導を賜り、全く自分の事として日参されてお世話になりました。今後も顧問としてお世話になるでしょう。また、今回ご退任なされた方々はお仕事ご多忙の方や、老齢を理由にされた方々もおられますが、今後とも護持会のために側面からご指導ご協力をお願い申し上げます。

新会長の小林榮子様には、公私ご多端の中を万難を排して会長ご就任いただきました。有り

難しく感謝し、寺院興隆に敏腕を発揮されることを切望いたします。

新役員の方々にはご多忙ですが、檀信徒を代表してご提案をお願いいたします。

以上のように過去の多難の解決にご支援賜りまして厚く御礼申し上げます。今後の当山の興隆のために絶大なご協力を特に懇願する次第です。

※ 護持会活動の「飛翔」に努力



曹洞宗萬福寺護持会 会長
小林 榮子

この度、護持会会長の命を受けました。当萬福寺は歴代知名度高き会長様がお務めでいらっしゃいましたが、元より浅才非学非力な私でございますが、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。檀信徒の皆様と共に萬福寺護持会の基盤強化を目指し、努力して活動してまいります。

平成24年度萬福寺護持会事業計画も出来ており、諸行事がございます。

9月22日 彼岸会法要、10月28日 鬼子母神法要、12月14日 本尊御開帳、大晦日の除夜の鐘、大般若会祈祷、2月15日の釈尊涅槃会等、仏事の度に護持会会員の交流を図っておりますので、ぜひご参加の程お願い申し上げます。

「飛翔」は私の大好きな言葉です。会員の皆様のお声を拝聴し、共に萬福寺の護持会活動を飛翔させていただきたくお願い申し上げます。会員皆様のご健勝とご多幸を祈念いたし、

お務めが無事できますようお力添えを重ねてお願い申し上げます。

※ 寺なくして檀家、あり得ず



曹洞宗萬福寺 顧問
波田野 鈴雄

平成19年1月17日を境にして、曹洞宗萬福寺は180度の大転換をした。寺の運営に對して、檀家（萬福寺護持会）が参加することになったことである。―これは萬福寺だけではなく、他の各寺院も、その様になりつつあるのが世間一般の傾向である。

社会全体の進み方がスピードをあげ、複雑に急発展したためで、寺自体のみでは対応が出来ず、檀家と一体となって、総力をあげて寺の方向性を模索していくことが必要になってきている。寺のみの社会性・経済性をみるのではなく、日本の、否、世界の動向を的確に捉え、その都度、当山としての適格なる指針を示すべきである。檀家なくして寺、あり得ず。寺なくして檀家、あり得ず。



本堂正門

※お断り 名誉副住職・安本弘隆様と副住職・安本由道様のご挨拶は次号に掲載します。